

「JAL 不当解雇撤回 高裁勝利！ 早期解決をめざす 10.25 大集会」に 結集した仲間へのメッセージ

皆さん、こんにちは！福島みずほです。

2010年みそかの非道な首切りから3年、不屈の闘いを継続しているJAL不当解雇撤回裁判原告団の皆さん、その闘いをしっかりと支え続けている支援の皆さんに対して心から敬意を表します。

さて、衆参ふたつの選挙の勝利に余勢を駆った安倍内閣は、憲法改悪、集団的自衛権行使容認、秘密保護法など、戦争のできる国づくりの総仕上げに向けて突き進んでいます。

一方で、東京電力福島第一原発事故によって放射能被ばくの恐怖にさらされる子どもたちは、その命をないがしろにされ続けています。原発事故の収束も汚染水処理もできないにもかかわらず、政府は原発輸出と再稼働に前のめりです。

小泉構造改革に端を発した規制緩和の荒波は、日本に働く多くの労働者を覆い尽くし、今や4割近くの人が非正規労働という名の不安定な環境の下、生活不安を抱えながら暮らしているという状況です。

歯止めを失った新自由主義や、セーフティーネットの破壊に対する反省から、一度は政権交代が実現したものの、またもや安倍内閣の下で、派遣労働の見直しや限定正社員など労働分野の規制緩和が声高に叫ばれています。

今こそ、働く者の団結でこうした策動をはね返す時です。JAL不当解雇撤回闘争は、その中で極めて重要な位置を占めています。解雇権制限法理や労働基本権をもう一度しっかりと私たちの手に取り戻し、経営者のやりたい放題にブレーキをかけなければなりません。

そのための確固たる足取りを、高裁勝利によってスタートさせようではありませんか。本日の集会の成功を祈念し、解雇撤回というゴールまで闘う決意を、本日皆さんと共に確認したいと思います。

最後まで、いっしょに頑張りましょう！

2013年10月25日
社民党参議院議員 福島みずほ